



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成 28 年 6 月号

今月のオススメ📖



≪ 物語シリーズ ≫ 著者：西尾 維新

㊦とある田舎町の男子高校生・阿良々木 暦あららぎこよみは、街に現れた瀕死の女吸血鬼を助けたことがきっかけで、吸血鬼もどきの人間となってしまう。女吸血鬼はその力を封じられたものの、「怪異の王」たる吸血鬼の出現はこの街の霊的エネルギーを乱し、様々な怪異の類が出没するようになる。暦はそうした怪異に憑かれた少女達と出会い、彼女達を助けるうちに人間的に成長していく。

「物語シリーズ」はいまのところ、化物語（2006年）から業物語（2016年）の10年間に、20冊刊行している大ヒットシリーズです。私がこの本に惹かれた理由として、西尾維新先生独特の「言葉遊び」の世界にのめり込んだことが理由として挙げられます。アニメの独特な世界もよし、小説の独特な世界もまたよし。最高の「西尾維新ワールド」を、ぜひ感じてみてください！ (TS)



余談

朝の読書推進協議会によると、「朝の読書」実施校は平成28年5月2日現在、小学校16,792校、中学校8,651校、高校2,224校の計27,667校。全国で約970万人の児童・生徒が取り組んでいるそうです。その中で、なんと西尾維新さんの物語シリーズは、高校生の「朝の読書で何を読んでいる？」アンケートで1位を獲得したそうです。ちなみに2位は、芥川賞を受賞した又吉直樹さんの『火花』と川原礫さんの『ソードアート・オンライン』です。

高校生に1番人気の西尾さんですが、本当は小説家ではなく、漫画家になりたかったのだそうです。絵が上達しなかったため、小説に転向したとか……。だからでしょうか、西尾さんには漫画原作者という肩書きもあります。作品はアニメ化や実写化もされていますが、オススメ図書委員の言うように“凝りに凝った言葉遊び”が魅力です。まずは、小説でその言葉遊びの魅力に浸ってみましょう。

ペンネームも言葉遊び?のようですよ。気づきましたか？ 西尾 維新 ⇒ NISIOISIN

新着案内😊

≪ シアワセなお金の使い方 新しい家庭科勉強法2 ≫ 著者：南野 忠晴

この本はタイトルどおり、中高生を対象にした『シアワセなお金の使い方』の指南本です。高校の家庭科の先生でもある南野さんが、授業形式で“講義”をしてくれます。高校生の皆さんは、いずれ近い将来、経済的な自立をして自分でお金の管理をしなければなりません。「シアワセ」を真ん中においてお金の使い方を考える、という著者の考えには、なるほど……と思わされます。

南野さんは、13年間大阪府立高校の英語の教員をした後、家庭科教育の重要性に目覚め、家庭科で採用試験を受け直したそうです。他にも『正しいパンツのたたみ方』等の著書があります。これらの本を通して、「生活力・生きる力」が最も大切なことのひとつである、と訴えているのだと思います。



先生のオススメ

深谷 誠 教頭先生

《闇の花道～天切り松闇がたり》 著者： 浅田 次郎

極貧の中に育ち、父親は酒と博打におぼれ、母は病で亡くなり、姉は女衞にうられたという生い立ちを持つ伝説の夜盗「天切りの松」と松蔵が留置所の中で語る明治・大正・昭和の義賊「目細の安吉一家」の活躍を軸に、当時の世相や社会状況、富めるもの貧しきもの暮らしぶりが描かれている一方、歴史上の人物も登場するエンターテインメント作品です。

物語は荒唐無稽。こんな話し絶対嘘だ！という所がたまらなく痛快です。とくに少しでも日本の近代史についての知識があればその楽しみは倍増します。また、この作品の中の人物たちが示す家族や仲間を示す情愛や、その内に抱える矜持の描き方は秀逸で、人間はどんなに苦しい状況や立場に立たされても単純な悪人や善人にはなりえない、また、そうならないといけないことを感じさせてくれます。



☆生徒へひと言☆

勉強のためでも、楽しむためでも「読む」ことはあなたの人生を豊かにします。新聞のスポーツ欄やテレビ欄のコラムでも、とにかく読んでいけば、必ずそこにあなたにとっての「面白い interesting」があるはずですよ。

◆図書だより編集部より◆

浅田次郎さんは高校生の皆さんにとっては、はあまり馴染みのない作家かもしれませんが。映画化もされた直木賞受賞作『鉄道員（ぽっぽや）』の原作者といえわかりますね。深谷教頭先生オススメの『天切り松闇がたり』は、人気のシリーズ本です。浅田さんの本は、非常に読みやすく感動ものが多いといわれています。“平成の泣かせ屋”との異名もあります。ぜひ、教頭先生のオススメ本を読んで感動に浸ってください！

図書館からのお知らせ

新しい本がたくさん入りました♪

進路に役立つ本がたくさん入りました。3年生の皆さんは、具体的な進路を決定する時期ですね。1・2年生の皆さんも自分の進路について、具体的ではなくとも、方向性は決まっていますか？ 本校の図書館には、他にも『〇〇になるには』、『〇〇にかかわる仕事』等のシリーズ本があります。職業図鑑や小説・マンガで見る本を借りて、自分の将来について考えてみませんか？

他にもたくさん新しい本が入りました。まずは、図書館へ足を運ぶことから始めましょう。お待ちしております！

